

2025年2月26日

障害福祉サービス事業者の皆様

枚方市障害福祉サービス事業者連絡会

会長 安田 雄太郎

2024年度 第3回 枚方市障害福祉サービス事業者連絡会の開催について

平素は、事業者連絡会の運営にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、下記の要項で第3回連絡会を開催いたします。

今回は、「コロナ後の面会制限から医療と福祉を考える」をテーマに、枚方市及び枚方市自立支援協議会との共催企画「ほっこりひらかた」として講演会を実施します。

新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行して2年が経過しようとしています。しかし、今も多くの病院や施設で「面会制限」が残っています。枚方市においても、コロナ禍での精神科病院への訪問面接の制限をはじめ、面会制限は地域移行の取り組みにも大きな影響を及ぼしてきました。人と人が面会することの意義と感染リスクをどう考え行動するのか、私たち一人ひとりに問われていると思います。

研修では、重度の精神障害者の地域生活を多職種による訪問で支援するACT（包括型地域生活支援）で精神科医として訪問診療活動をされながら、クラフトビール造りで障害者就労支援とむすびつける活動をされている高木俊介さんを講師にお招きします。面会それ自体を「ケア」と位置づける高木さんの講演をとおして、コロナ後の面会制限から医療と福祉を考えていきたいと思います。

貴重な機会ですので、ぜひご参加くださいますよう、よろしく願いいたします。

記

1. 日 時 2025年3月25日（火） 午後2時から午後4時
2. 会 場 ラポールひらかた4階 大研修室
3. 案 件

・枚方市からの連絡他

・講演：コロナ後の面会制限から医療と福祉を考える
～ 面会是人権であり、ケアである！ ～

講師：高木 俊介 さん（精神科医／京都・一乗寺ブリュワリー代表）

参加費：無料

※資料は開催前日までにメール配信しますので、各自印刷してご持参ください。

※出席の場合は、3月18日（火）までに参加票をFAX（裏面記載）で送信の上、
当日も参加票を受付に提出してください。

<裏面もご覧ください>

※全体会（研修）への参加は、会員事業者に限定しています。新たに入会を希望される事業者は、以下のアドレスにメールを送信してください。入会届をPDFで添付し、返信しますので、PDFファイルが受信できるメールアドレスを使用してください。

〇〇〇〇@△△△△

※特別警報等で会場が閉館になった場合は、延期します。その場合は、連絡会に登録いただいているメールアドレスにお知らせメールを送信します。枚方市役所に登録されているアドレスではなく、連絡会専用の名簿からメール送信しますので、入会届にアドレスを記載されていない事業者は、上記アドレスまでお知らせください。会員限定の情報も随時メール配信しています。

■連絡先（事務局） 枚方市大垣内町2丁目1-20
枚方市役所 福祉事務所 障害企画課 宇内
障害支援課 林
電 話 072-841-1152（直通）
FAX 072-841-5123

◆講師プロフィール

高木 俊介（たかぎ・しゅんすけ）

1957年生まれ。1983年、京都大学医学部卒業。同年より精神科医として働く。

「精神分裂病」という病名を「統合失調症」に変更する作業にたずさわり、2002年に病名変更が決定された。

2004年に、重度の精神障害者の地域生活を多職種による訪問で支援するACT（包括型地域生活支援）をはじめするために、たかぎクリニックを設立。

現在、ACT-K（ACT 京都）で訪問診療活動をしながら、一乗寺ブリュワリーを障害者就労支援とむすびつけるべく悪戦苦闘している。

■著書 「ACT-Kの挑戦」（批評社；増補新版2017）、「こころの医療宅配便」（文藝春秋社2010）、「精神医療の光と影」（日本評論社2012）等

■訳書 「オープンダイアログ」（日本評論社2016）等